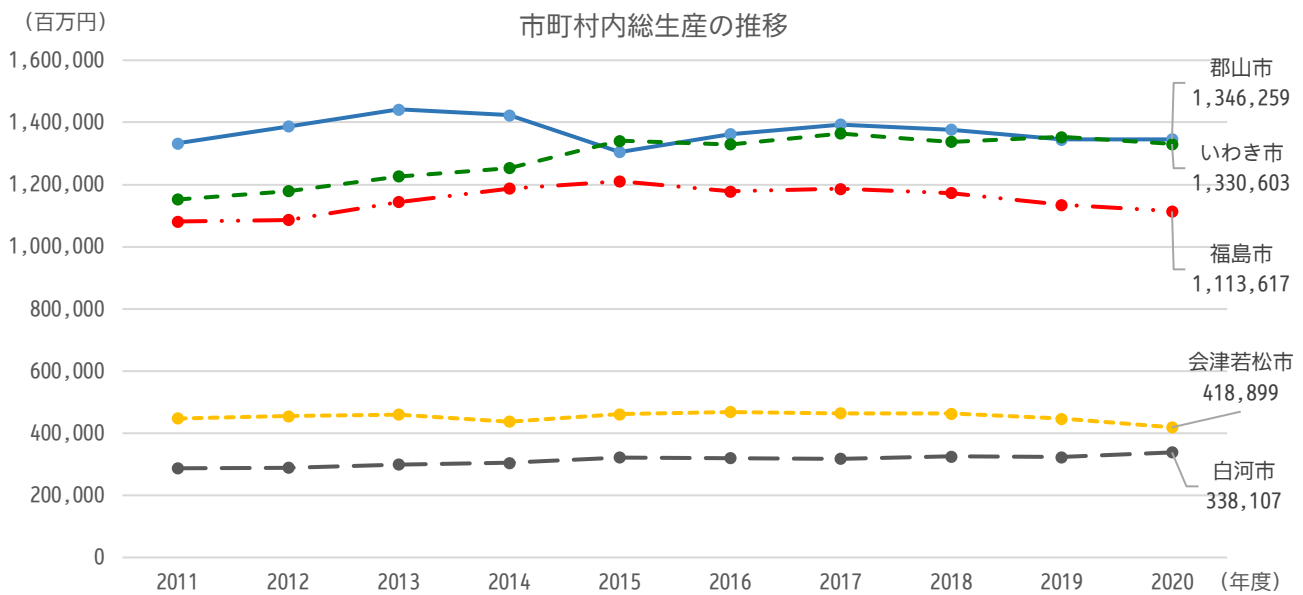




福島県市町村民経済計算「市町村内総生産」(2011-2020年度)の推移

- ・2020年度における県内の市町村内総生産が大きい市町村は、郡山市、いわき市、福島市の順となっており、この3市町村のみが1兆円を超え、合計すると県内総生産の約48%を占める。
- ・本市の市町村内総生産の推移をみると、2011年の東日本大震災以降は復興需要もあり一時的に上昇したが、2015年3月の大規模製造工場の閉鎖により大きく減少。その後は、西部第一工業団地をはじめとした企業立地が進み徐々に回復し、2020年度は県内第1位の1兆3,462億円となる。



出典：福島県統計課「令和2(2020)年度 福島県市町村民経済計算年報」

2020(令和2)年度 市町村内総生産 上位10市町村

(単位: 百万円)

順位	市町村名	2011年度 (H23)	2012年度 (H24)	2013年度 (H25)	2014年度 (H26)	2015年度 (H27)	2016年度 (H28)	2017年度 (H29)	2018年度 (H30)	2019年度 (R元)	2020年度 (R2)	対県構成比(%)
1	郡山市	1,332,510	1,386,790	1,442,133	1,423,067	1,304,627	1,362,751	1,392,846	1,376,405	1,344,607	1,346,259	(17.2)
2	いわき市	1,151,837	1,178,865	1,226,626	1,253,513	1,341,095	1,329,118	1,363,960	1,337,523	1,352,659	1,330,603	(17.0)
3	福島市	1,081,229	1,086,500	1,143,906	1,187,445	1,210,615	1,177,711	1,185,704	1,173,177	1,134,264	1,113,617	(14.2)
4	会津若松市	447,702	455,190	459,711	437,363	460,835	467,916	464,300	462,769	446,319	418,899	(5.4)
5	白河市	287,009	289,105	298,848	304,044	321,872	319,684	317,553	325,222	322,550	338,107	(4.3)
6	南相馬市	154,687	172,606	255,737	309,151	368,090	345,418	342,856	334,785	326,489	329,015	(4.2)
7	須賀川市	223,673	253,469	255,961	263,445	265,906	271,964	274,161	270,017	264,962	269,305	(3.4)
8	本宮市	134,432	159,465	194,840	205,101	206,825	214,091	220,466	213,698	201,555	210,765	(2.7)
9	相馬市	123,937	151,310	175,841	184,637	187,220	271,159	264,600	264,309	249,113	195,007	(2.5)
10	伊達市	165,347	163,360	171,063	159,837	159,598	168,005	173,824	167,685	165,350	186,267	(2.4)

※数値は平成27年基準による県民経済計算の値を按分して推計

【参考】市町村民経済計算とは

市町村民経済計算は、県内市町村の経済の規模、成長率、構造、所得水準などを明らかにするため、県内市町村の経済活動により1年間に生み出された付加価値を、**生産(市町村内総生産)**・**分配(市町村民所得)**の二つの側面から計量把握するための統計で、県内市町村の経済活動を包括的に記録している。

福島県では、県ウェブサイトにおいて毎年公表している。

